

イエスはまなり



日本クリスチャン・アシュラム連盟

# 日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 153号

## 戦いの器はうせた

岡山 敦彦



私たちは、神様から多くの贈り物をいただいています。目に見えるもの、見えないものと様々です。クリスチャンには、信仰の友が与えられ、この世では経験できないすばらしい交わりが与えられています。これも神からの賜物です。九州アシュラムでは、集会中には、お互いを兄弟・姉妹と呼び合います。牧師、伝道師に対して、「先生」と呼びかけたとき、罰金として1回につき百円を支払う楽しいゲーム? もあります。

聖書の中で、素晴らしい信仰の友、友情の理想的な関係は、ダビデとヨナタンの友情といます。第Iサムエル1章のダビデの哀歌は、ダビデがサウルのため、その子ヨナタンのために歌ったものです。特に、ヨナタンへの思いが25～27節に歌われています。ペリシテ人との戦いで戦死したヨナタンのことを思い出すダビデの悲しみは、私たちが想像さえ出来ないほど大きいものでありました。サウルは、嫉妬心からダビデの命を何度となく奪おうとして、実行に移しました。父サウロの思いを知った息子ヨナタンは、自分の命の危険をも顧みず、ダビデを死の危険から守り、安全な場所へと移しました。このようにヨナタンの友情は、女の愛にもまさって、すばらしかったのです。特に若い時に育まれた友情が、30年も40年も、またある時は50年という永きに亘る時、それは神様からのすばらしい賜物と言えるでしょう。

アシュラムにおける交わりも、すばらしいものです。一年振りに会ったとしても、お互いの安否を確かめ、再会を感謝する時、神様の恵みをほめたたえずにはおられません。

私には学生時代からの40年にも及ぶ信仰の友が数人います。今年の夏、そのうちの一人が主のみ元に召されました。彼はまさに信仰の戦いの器でありましたが、うせたのです。しかし、私たちは、アシュラムで、主と交わり、既に召された信仰の友の戦いを心に刻み込みながら、自らも信仰の馳せ場を駆け抜けることができるよう、祈り励ましあいましょう。

(日本同盟小倉中央キリスト教会牧師)

## 霊 想



### 聖霊なる神を信じて

佐野 勇松師

霊 想

関東アシラムでは「イエス」は主であるとの標語を掲げています。では何によってそのように言えるのか。聖霊によらなければ「イエス」は主であると言えないのです。コリント1の12章の3節 聖霊なる神の霊に導かれればイエスを救主として受け入れることができます。

目に見えない事柄ですからほんとかな？と言いたくなります。二千年にわたり教会が続いていることは、聖霊なる神を信じて生きた人たちがいたからです。私は約五十年前福島県浪江町で二年間伝道の仕事をしました。長い信仰生活を送った前田貞美さんがいました。彼は屋根瓦を製造していましたが、地域の人からはヤソの前田と信頼されています。事業も順調で人々に信頼されるまでになったのは、ヤソの神様が守って導いて下さったからだ、と感謝の意を表わすために浪江駅の近くに中古の家屋を買い、本部(救世軍)

に提供しました。ここを拠点として伝道活動が始められました。四年目で三人目の伝道者として私は赴任しました。前田さんの一家と数人が会員名簿には記されていましたが、日曜日の礼拝には誰も参加する人はいません。彼は自宅に住み込みで働いていた青年から聖書の教えを受け信仰に入ったと言います。したがって教会に集まり共に礼拝する習慣はなかったのです。

したがって家屋を提供してからも出席しませんでした。私の前任者は一年間誰も来ない主日礼拝を守っていました。この人は婦人で自転車にも乗れない人でありました。苦悩の連続であったと思います。それにしても自分の工場で働かせる為に雇った青年から聖書を学び信仰に入った前田さん、雇い主に対し生活改善を求め(彼は深酒をするようになっていました)昼間は工場で土を練り、夜は工場主である前田さんに聖書を教えました。熊田青年も共に聖霊の導きを豊かに受けてのことだと驚きました。私は誰も来ないなら自分が出て行くことだと順番に訪ね歩きました。その間に子供相手に野外集会を行っていました。町はずれの住宅地でもよく行いました。或る日、いつもより大勢の子供が集まり大人も十人程度居ました。サーカイの紙芝居を使ってよい集会となりま

した。ところがにわか雨になり困った時、私の家に入り、続けて下さい、と申し出られました。早速その家に入り子供会を続けました。お母さんたちから、あなたたちはどこから来たの？教会はどこにあるの？と、私たちはいつものように日曜日の案内をして帰りました。次の日曜日には先日家で集会をさせてくれた斉藤さんが入学前の恵子ちゃんを連れておいでになりました。子供たちは大勢集まっていました。三回目の時、お母さんに恵子ちゃんと一緒に祈りたいがよいですかと同意を求めると、私に、祈って下さいとのこと。神、罪、救について改めて話し三人で祈りました(この時の恵子さんが後日、いのちのことは社で、教会学校向けの「成長」の編集の仕事を長くしておられました)。他に出席者が無いまま斉藤さんは礼拝も出て帰られるようになりました。嬉しかったですが同時に心配もありました。それは過去に女の人が求道者となると熱心ですが、主人が反対で行けないようになる事でした。床屋のおばさんにこの話をしました(おばさんは夕拝に出ていました)、斉藤さんは私のお客ですし、何回かここで逢っている人ですよ、相変わらず礼拝には誰も来ません。斉藤さん親子と祈った三週間後の日曜日、今日も誰も来なかったなと居室の二階に上りか

けた時、入口の方でガタゴト音がしました。行つて見ると若い男が、あ、よかった、と言って立っていました。堀川です、と自己紹介すると、何回も来たけれど誰も居ない感で入れなかった、やっと入れたと嬉しそうに話し、ここに斉藤智恵子と言うのが来ているでしょう、私は兄です。斉藤、堀川の兄妹が熱心に礼拝に出席されると、又困った事が問題になりました。前田さんはいっ礼拝に出られるのかねとの問いかけ、これには困りましたが、有りのままを話し、彼に気がねせず、あなた方兄妹は礼拝も休まないようにと話しました。翌日夕方前田さん宅を訪ね幾人かの求道者ができたことを伝え喜びを分かち合う祈りをしました。更にあなたは今礼拝についてどんな考えになつてますか？ヤソの前田さんが礼拝を守らないと、折角提供された家も活かせない。彼は商売人と同じで日曜は使用できないと言います。そのような考えの人は教会役員に相応しくないから辞令を返しなさい。

奥さんがジッチ、先生の言うのが本当でないか、私は帰りますと立ちました。翌日明るくならないうちに前田さんが教会に来て、昨夜は年甲斐もない事を言い赦してと、私も売り言葉に買い言葉で応じますみませんでしたと赦しを求め二人で土間に

座して手を取り合つて祈りました。後任者は浪江は小さいけれど会計が礼拝をよく守るのでやりやすいと話していたのを聞き乍ら祈りを思い出していました。

### 証 古い記憶を 主にゆだねて

小林 勝

今年の夏は、選抜高校野球の大阪府大会で清教学園が準決勝まで残り、河内長野市長選で学園の社会科学の先生が当選する等、話題の多い夏を過ごしました。学園をここまで発展させるには多くの方々の祈りとご尽力があり、また、悩みも少なくありませんでした。

一九八〇年代初め頃、学園と河内長野教会が、信仰と教育が一つになつてなされるものか、別のものかなど教会内の意見が分かれて、信頼する牧師がかなりの数の信徒と共に別の教会を作ると言う大変なことが起こりました。私は初代理事長橋本通牧師の経営する保育園の一員としていただいて勉学をおえ、学園に勤めていましたので、悩み多い日々を過ごしていました。(橋本先生の時代一九五九年冬にスタンレー・ジョンズ先生が河内長野で特別伝道集会を中学校と教会で開催され、71名の参加者がありました)一九八〇

年代初めの頃、夏に開かれる教団出版局の信徒の友セミナーに参加していました。ある夏講師に招かれた東岡山治先生と出会い、悩みを聞いて頂いて先生が若い日にアシシラムで救われた体験をお聞きしました。その折り、一度アシシラムに参加してはどうかとお誘いを受けました。秋にご紹介頂いた日本アシシラム連盟加入の関西アシシラムに参加させていただき、「祈りの細胞」などでキリストへの明け渡し(開心)を学ばせて頂き、あるがままに主にゆだねて学園と教会の生活を続けていく決意をしました。それ以来、関西アシシラムでは清教学園のために祈り続けて下さっています。

長男は、榎本アシシラムで育てられ、祈りのうちに、同じ祈りの群れの中で、配偶者が与えられ、数年前から夫婦で教会の長老と執事の奉仕をさせて頂いています。今では河内長野教会の信徒4人が榎本アシシラムの熱心な参加者で、それぞれ長老・執事などの奉仕をされています。今日、分かれた牧師・信徒の方々が作られた教会も立派に成長し、清教学園の教職員数人の方々もその中に居られます。古い記憶を主にゆだねて主の働きに変えていただく中で、古い傷痕が主の力で癒されて、永遠なるものを待ち望む群れの奉仕へと変えて頂いている現実に直面し

て、アシシラムの祈りの力による素晴らしい実りの果実を見せて頂いております。

### 第27回

### 岡村アシシラム報告

安藤 脩(横浜岡村教会牧師)



師(横浜南キリスト教会)でした。7月12日(土)と13日(日)と二日にわたって行われました。でも同じ横浜磯子区にお住まいのため通っていただきました。それに加えて伴侶の伸雄牧師もゲストとして参加くださり、オリエンテーションを兼ねた開心の時を担当くださいました。主題は「イエスは主である」

思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい」Iペテロの手紙五章7節、ローマの信徒への手紙八章28節、一日目の12日は午後三時から始まり、開会礼拝、開心の時、祈りの細胞、愛餐を挟んでファミリーアワーを持ち、午後八時三〇分までです。今年のファミリーアワーは「創立六〇周年に向けて」と題して話し合われました。来年は日本宣教一五〇周年ですが、私どもの教会にとっても六〇周年という、大きな節目の年となります。

岡村アシシラムは、二週間の連鎖祈持を持ってスタートいたしました。今年はローマの信徒への手紙を毎日一章ずつ読み、各自デイポーションの時を持ちました。祈りを持って備えた第27回岡村アシシラムの助言者は、矢野清美牧

二日目の13日は午前八時、静聴をもって始めました。主日礼拝でもある福音の時の前にもう一回、祈りの細胞があります。この時間はCSの時間でもあります。子供たちも礼拝後の分級はくじでグループ分けし、祈りの課題を出し合い、隣の友のために祈り合います。プログラムは午後から愛餐会、労作の時、充滿の時と進み、午後三時三〇分で終了しました。参加者は一日目22名、二

日目44名でした。

最後に、ある参加者の感想を記して報告とさせていただきます。「信仰による義兄は、キリストを信じることにより、無償の愛が与えられていることを学びました。私のニードはいつもの事ながら、家族の救いです。たった一度の人生を神様と共に生きて欲しいと願うのみです。しかしこの願いが長く届きません。今回のアシラムにて礼拝のメッセージで、「一切の思い煩いは、何もかも神にお任せ下さい。神があなただけを心にかけていて下さるから」「これは神の分であるから」と語られました。主は一人一人を導いて下さるのだと気付き、すべて主に委ねました。そして希望が与えられた時を感謝しました。」

### 第四六回関東アシラム報告

関東アシラム書記 島津 吉成

第四六回関東アシラムが、今年も山崎製パン箱根山荘をお借りして九月一五日〜一七日に行われました。主題は「聖霊の働きがなければ」(コリント第一 一二章三節)で、今回は、「福音の時」の助言者の務めを、関東アシラムの委員をして下さっている佐野勇松師と木部安来師が一回ずつ担当してくださいました。参加者は、昨年とちょうど同

じ四〇名でした。

まず、開会礼拝で有馬歳弘師がルカ二四章からメッセージを取り次いでくださり、エマオ途上の弟子たちと主イエスが共に歩んでくださったように、このアシラムでも主が私たちと共に歩んでくださることを覚え、主が今回のアシラムの中でどのように導いてくださるのか、期待する思いが与えられました。続いてオリエンテーションを私、島津が担当し、開心の時を伊藤節師が担当してくださいました。その後、昨年のアシラムの祈りの細胞で一緒だった方々と、一年間の歩みを分かち合う「感謝の時」を持ちました。一年間、共に祈ってきた仲間との再会は、まさに喜びの時でした。夕食の後、七つのグループに分かれて祈りの細胞。そして、夜十時から翌朝まで、参加者に一時間ずつ希望する時間を担当していただき、祈禱室で連鎖祈禱がささげられました。一人、静まってみ言葉に聴き、祈る。この連鎖祈禱の時が、アシラムの醍醐味を味わうときでもあります。

二日目は、午前六時三〇分から静聴の時、堀内稔兄の導きによりマタイ十八章を静聴。朝食後、福音の時、佐野師より地方での困難な状況の中で伝道者として主に仕えてこられた証しを伺い、心が燃やされました。その後、祈りの細胞の二回目。

昼食の後、ファミリアアワー。まず、関東アシラムの委員をして下さっていた堀内清兄の追悼記念会を行い、忠実な歩みを全うされた兄弟を偲びました。二日目の夜は、安藤脩師の司会によつて賛美と証しの集会。今年も恵みあふれるときとなりました。

三日目の朝は、田口誠弘兄の導きにより、エペソ四章から静聴をし、朝食後、福音の時の二回目。木部師は、今日までの豊富な経験を通して聖霊の働きについて語ってくださいました。そして、最後に横山義孝師の導きによる充滿の時。主の恵みを感謝し、主を賛美し、来年の再会を誓い合いました。

### 各地区アシラム予告

●第42回関西アシラム

とき 08年10月12日(日)〜13

日(月・祝)

ところ 母の家ベテル(御影駅近

く)

助言者 後宮俊夫師

### 【消息】

●故白川鄭二師(日本アシラム

連盟理事・関東アシラム協力委

員函館栄光キリスト教会牧師)

07年6月4日ご召天(92才)

この度ご遺族より同師を偲ぶ記念文集が委員会宛贈呈されました。

●故堀内清兄(関東アシラム委員、

日本基督教団更生教会員)

アシラム委員として忠実な同兄

は療養中でしたが07年11月16日召

天されました。

94才。いずれもご遺族の上に主のお慰めを祈る。

各地区アシラムの上に祝福を祈り  
つつ(Y)

〒一八一〇〇三鷹市井口3-15-6

池の上キリスト教会内

日本クリスチャン・アシラム連盟

振替口座 東京〇一〇〇一四五五八

理事長 大石嗣郎

